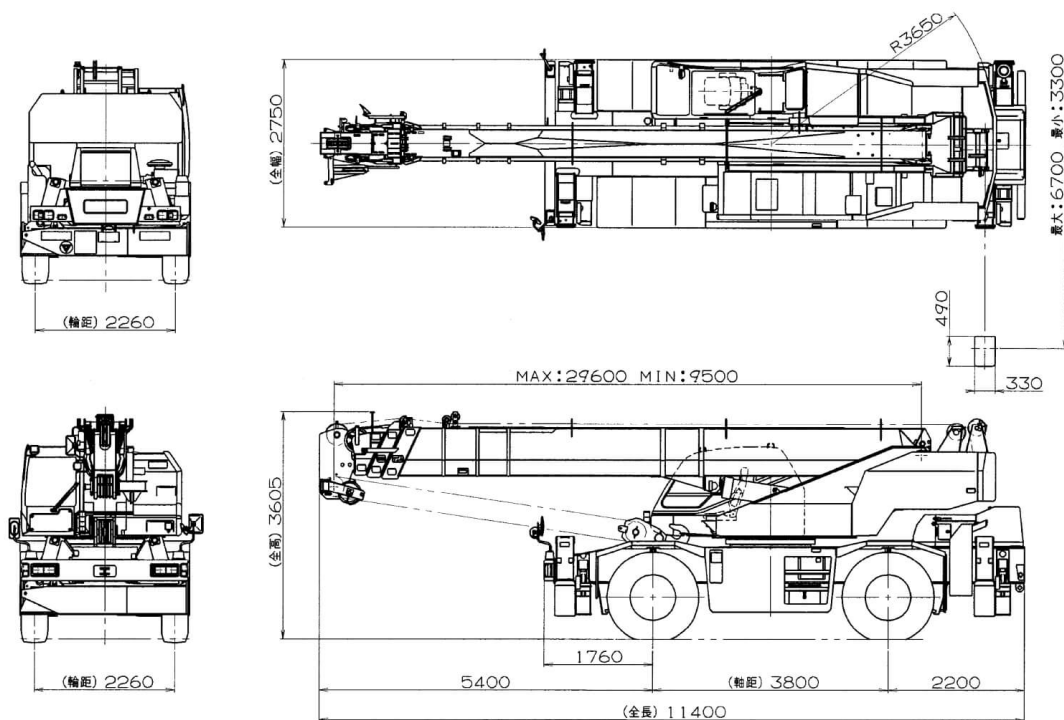


ラフテレーンクレーン：最大吊上能力35t / GR-350N型

外観図



注意事項

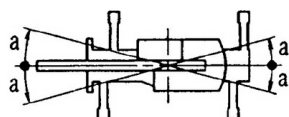
アウトリガ使用時の注意

1. 定格総荷重は、水平堅土上においてクレーンを水平に設置した状態での値で、つり具とフック重量（35トンフック：330kg、20トンフック：210kg、補巻：70kg）を含んだ値です。太線より上はクレーンの強度によって定められ、下はクレーンの安定度によって定められています。
2. 作業半径は、ブームのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準にしてください。
3. ブームの定格総荷重は、シングルトップを格納しているときの値です。シングルトップおよび補巻フックを装着した状態でのブームの定格総荷重は、定格総荷重表の値から70kgを差し引いてください。
4. シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重からブームに取り付けられているフックの重量を差し引いた値とし、かつ限度は3.5tです。
5. 自由降下は原則としてフックのみを降下するときに使用してください。やむをえずつり荷を自由降下する場合には、定格総荷重の1/5を限度とし、急激なブレーキ操作は避けてください。
6. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛本数は下表のとおりです。ただし、この掛数以外で使用する場合は、ロープ1本当り主巻・補巻ともに3.5t以下としてください。

() 内は20トンフック

ブーム長さ	9.5m	16.2m	22.9m	29.6m	シングルトップ
巻掛本数	10	7	5 (6)	4	1

7. 側方域でのつり上げ性能は、アウトリガ張出幅によって異なります。張出幅に応じた性能で作業をしてください。また、前方・後方域でのつり上げ性能は「アウトリガ最大張出」の定格総荷重ですが、アウトリガ張出幅によってその前方・後方域の範囲（角度a）が異なります。



張出幅	中間張出	中間張出	中間張出	最小張出
	6.3m	5.2m	3.8m	3.3m
角度a°	50	40	25	20



アウトリガ不使用時の注意

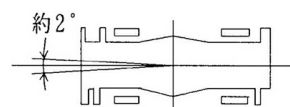
1. 定格総荷重は、水平堅土上においてタイヤのエア圧が規定圧（900kPa {9.00kgf/cm²}）で、かつ完全にサスペンションロックシリンダをロッカーダウン（最縮小）した場合の値で、つり具とフック質量（35トンフック：330 kg、20トンフック：210kg、補巻：70kg）を含んだ値です。太線より上はクレーンの強度によって定められ、下は安定度によって定められています。実際の作業では、地盤、作業状態等を考慮して使用してください。

2. 作業半径は、ブームおよびタイヤのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので、必ず作業半径を基準にしてください。

3. 各ブーム長さにおけるフックのワイヤロープ標準巻掛け本数は下表のとおりです。ただし、この掛数以外で使用する場合は、ロープ1本当たり主巻・補巻ともに3.5t以下としてください。

ブーム長さ	9.5m	16.2m	22.9m	シングルトップ
巻掛本数	6	4	4	1

4. 「前方」のクレーン作業は、AMLの「前方位置シンボル」が点灯している時に行ってください。前方の範囲は、ブームがキャリアの前方の2°以内です。



5. ブームの定格総荷重は、シングルトップを格納しているときの値です。シングルトップおよび補巻フックを装着した状態でのブームの定格総荷重は、定格総荷重表の値より70 kgを差し引いてください。

6. シングルトップの定格総荷重は、ブームの定格総荷重からブームに取り付けられているフックの質量を差し引いた値とし、かつ限度は3.5tです。

7. 自由降下作業、ブーム長さが22.9mを超えるブーム作業はしないでください。

8. つり荷走行は、「駆動切換」スイッチを「L/4D」にし、シフトレバーを1速にして行ってください。

9. つり荷走行は、旋回ブレーキをかけ、荷が振れないように地面近くに保持し、1.6 km/h以下で行ってください。特に急ハンドル、急発進、急ブレーキは避けてください。

10. つり荷走行中は、クレーン作業を行わないでください



作業半径 (m)	車両静止時					
	9.5mブーム		16.2mブーム		22.9mブーム	
	前方	全周	前方	全周	前方	全周
3.0m	16	9	13	8		
3.5m	16	9	13	8		
4.0m	14.4	7.6	13	6.75		
4.5m	13.05	6.4	11.8	5.7	10	5.5
5.0m	11.85	5.2	10.8	4.6	10	5.5
5.5m	10.8	4.3	9.9	3.7	9.5	4.6
6.0m	10	3.6	9.1	3.05	9	3.9
6.5m	8.7	3	8.2	2.5	8.3	3.3
7.0m	7.5	2.5	7.1	2	7.8	2.8
8.0m			5.5	1.2	6.1	2.05
9.0m			4.3	0.6	4.9	1.4
10.0m			3.4		4	0.9
11.0m			2.7		3.25	0.5
12.0m			2.1		2.7	
13.0m			1.6		2.25	
14.0m					1.8	
15.0m					1.5	
16.0m					1.15	
17.0m					0.85	
18.0m					0.55	
A (°)	0~76		47~76		28~76	55~76
標準フック						

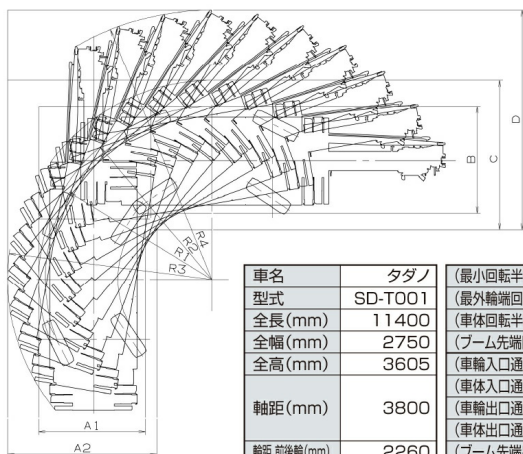


作業半径 (m)	車両走行時 (1.6km/h以下)					
	9.5mブーム		16.2mブーム		22.9mブーム	
	前方	全周	前方	全周	前方	全周
3.0m	12	6.8	10	6		
3.5m	12	6.8	10	6		
4.0m	10.8	5.7	10	5.05		
4.5m	9.75	4.8	9.15	4.2	7.5	4
5.0m	8.9	4.05	8.35	3.45	7.5	4
5.5m	8.15	3.35	7.6	2.8	7.2	3.4
6.0m	7.5	2.8	6.95	2.3	6.8	2.85
6.5m	6.9	2.35	6.2	1.9	6.2	2.4
7.0m	5.9	1.9	5.5	1.55	5.85	2.05
8.0m			4.25	1	4.85	1.5
9.0m			3.3	0.5	3.9	1.05
10.0m			2.65		3.15	0.75
11.0m			2.05		2.6	
12.0m			1.65		2.15	
13.0m			1.3		1.8	
14.0m					1.5	
15.0m					1.2	
16.0m					0.95	
17.0m					0.75	
18.0m					0.5	
A (°)	0~76		47~76		28~76	58~76
標準フック						



最小直角通路幅

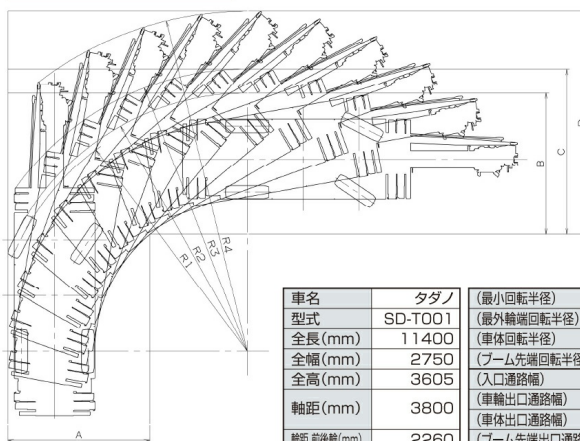
4輪ステアリング



単位(m)

車名	タダノ	(最小回転半径) R1	5.20
型式	SD-T001	(最外輪端回転半径) R2	5.42
全長(mm)	11400	(車体回転半径) R3	6.37
全幅(mm)	2750	(ブーム先端回転半径) R4	8.44
全高(mm)	3605	(車輪入口通路幅) A1	3.35
軸距(mm)	3800	(車体入口通路幅) A2	4.66
		(車輪出口通路幅) B	3.35
軸距 前後輪(mm)	2260	(車体出口通路幅) C	4.66
		(ブーム先端出口通路幅) D	6.88

前2輪ステアリング



単位(m)

車名	タダノ	(最小回転半径) R1	8.60
型式	SD-T001	(最外輪端回転半径) R2	8.82
全長(mm)	11400	(車体回転半径) R3	9.65
全幅(mm)	2750	(ブーム先端回転半径) R4	11.62
全高(mm)	3605	(入口通路幅) A	4.83
軸距(mm)	3800	(車輪出口通路幅) B	4.83
		(車体出口通路幅) C	5.66
軸距 前後輪(mm)	2260	(ブーム先端出口通路幅) D	7.63

株式会社タダノ様 [ラフテレーン クレーン 仕様書] より転載 (無断複写転載禁止)

